授業実践

青年期

働くことは生きること よりよく生きるためのワーク・ライフ・バランス

北海道高校教諭

1 はじめに

昨年来、日本の景気が上向きとなっていることや団塊の世代の大量退職が控えていることなどから、新規学卒者の求人が増加したり、契約社員やアルバイト・パートを正社員化したりする動きが産業界に広がっている。しかし、フリーターやニートの問題、労働条件の「格差」、そして長時間労働や過労など、働くことにかかわる課題が解決されたわけではない。

そこで、帝国書院『高校生の新現代社会（初訂版）』の「青年期の意義と自己実現」という単元において、p.56からの「職業と社会参加」という観点から授業展開を考えてみた。

2 青年期の課題と「一人前の大人」

まず授業の導入においては、前時までに学習した青年期の発達段階における特徴やその課題について復習しておく。アイデンティティ（自我同一性）の確立とその危機やモラトリアム（猶予期間）などという概念から、「一人前の大人」について生徒に考えさせることとする。

高度経済成長以前の農村社会における「一人前の大人」の基準は、男性は力仕事、女性は料理や裁縫などの家事で人並みの仕事ができることであった。しかし、工業化そして脱工業化した現代社会では、その基準は見えにくいものとなっている。

そこで、生徒に「『一人前の大人』の基準」や「早く大人になりたいか、なりたくないか」、そして「自分の『大人度』を5段階評価」について調査を行った。

私はここ20年あまり、今回紹介するような授業を行っているが、そこにおける「『一人前の大人』の基準」についての生徒の考え方は、大きく次の３つにまとめることができる。

「一人前の大人」の基準

①経済的自立
　自分で稼いで自分で食べていくことができる。
②精神的自律
　自分で自分自身をコントロールできる。
③法的な「成人」
　20歳。酒やたばこがOK。参政権が与えられる。
　罪を犯すと実名で報道される。

これまで私が勤務してきた高校においては、②の精神的な自律を大人の基準とする生徒が多かった。より広く意見を求めるのであれば、全国およそ500人の青少年の投稿による視聴者参加番組である「金曜かきこみTV」（NHK教育）[1]のHPが参考になる。番組のHPの掲示板には、現在の生徒たちの「生の声」が多数書きこまれている。

3 働くことの意義

しかし、社会一般の考え方としては、現在のところ①の「経済的自立」が「一人前」の基準となっているのではないかと思う。そして、その基準を満たすために必要なことが「働くこと」ということを、生徒に理解させるとよい。

それでは、働くことの意義とはどのようなことか。次のような英語の単語を辞書で調べさせる作業を通じて生徒に考えさせている。

「働くこと」についてのニュアンスの比較

calling
：天職、そのために生まれてきたような仕事
vocation
：収入目的ではなく、目的意識や使命感で選んだ職業
career
：生涯を通じての専門的職業
profession
：専門的な訓練と知識を要する職業
trade

1）2007年4月7日からは、「土曜かきこみTV」となり、放送は土曜日になっている。

：手や機械を使う技術を要する職業

occupation

：必ずしも雇用を意味しない恒常的な職業で改まった語

employment

：雇用を意味する職業、就職

business

：営利的な仕事、商売

job、work

：単純労働から熟練を要する職業までを含むくだけた語

＊参考『新グローバル英和辞典』（三省堂）

理想としては、calling のような天職を見つけ出すことだが、ほとんどの大人は「生活のための仕事」に従事する場合が多いのが現状である。

現代では、終身雇用、年功序列賃金の雇用システムにかわって、契約や派遣という雇用形態や職能給や能力給という賃金体系が取り入れられるようになった。そのなかで、少なくとも career や profession、あるいは trade に含まれるような専門的な技術や技能を身につけることが、「やりがい」や「職業的同一性」、そしてよりよく生きるという意味での「生きがい」をもった生き方に結びつくことを、生徒にも考えさせる機会としたい。

4 汝自身を知れ

それでは、「生きがい」に結びつく職業に就くためには何が必要なのだろうか。望ましい職業選択をするためには、自分と向き合い、自分なりの答えをもつことが必要である。しかし、自分のことはなかなかわかりにくいものである。そこで、自分をよく知っている親や先生、友だちにきいてみるというのも一つの方法だが、教科書p.52-53の自我同一性の心理テストを行ってみるのもよい。

また近年においては、インターンシップなどの職業体験なども、盛んに行われるようになっている。そのような機会に積極的に参加し、さまざまな体験や人々との出会いを通じて、自分自身の内面についての新しい発見を得ることができるかもしれない。教科書p.56-57の「現場から」にあるような、さまざまな仕事に従事する人たちの声を聞いてみるのも、生徒にとってはよい経験となる。

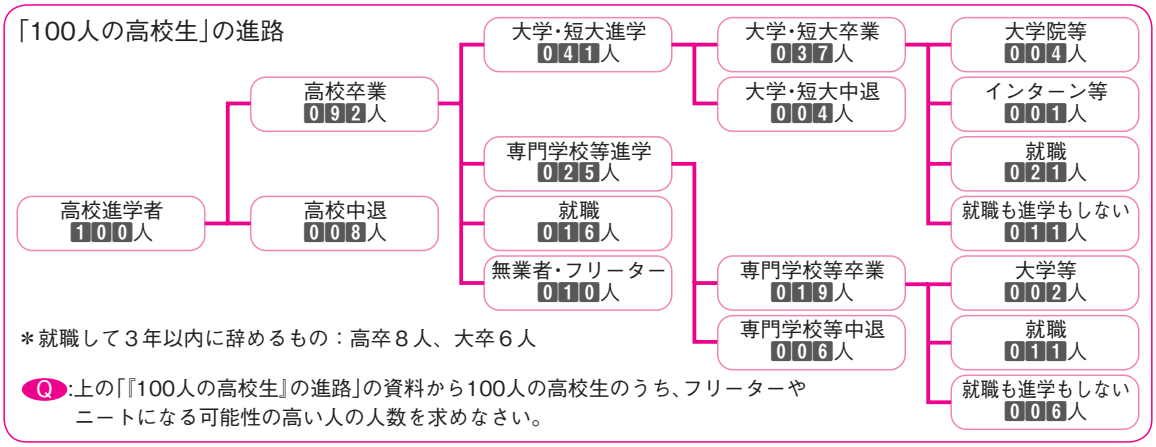
5 「100 人の高校生」の進路

下の図は鹿嶋研之助･千葉商科大学助教授（当時）が平成16年3月に調査したデータを参考にまとめた「『100人の高校生』の進路」である。これを使い、高校生の進路と働くことの現状、そしてフリーターやニートの数的な実態を、生徒に捉えさせている。

学校、あるいは生徒の実態を考慮して可能であれば、同ように「○○高校100人の入学生の進路」というような資料をつくらせると、自らの生き方についてより強い意識づけができるのではないかと思う。

6 正規雇用と非正規、派遣・契約

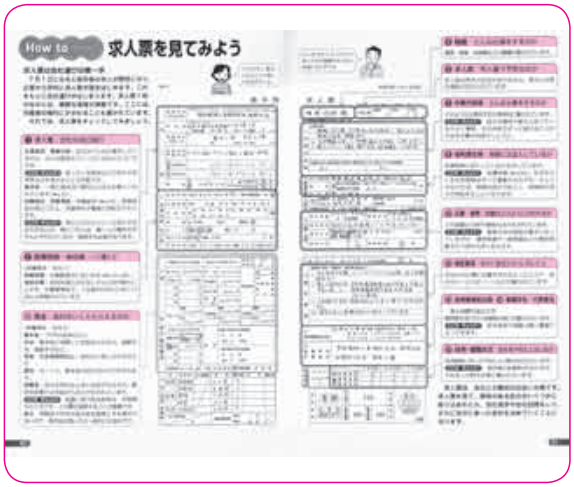
冒頭に示したように、現代の産業界では雇用形態が多様化している。



＊就職して３年以内に辞めるもの：高卒８人、大卒６人

Q:上の「『100人の高校生』の進路」の資料から100人の高校生のうち、フリーターやニートになる可能性の高い人の人数を求めなさい。

「現代社会」の学習では、生徒の生活や経験などの具体的な事象から、学習の興味･関心を引き出すことが求められる。そこで、正社員と非正社員の違いを教科書p.80-81の「How to」や、できれば実際に学校に送られてきている求人票とアルバイトの求人情報誌やウェブサイトなどをもとに、給与やボーナス、労働時間や休日、そして年金や健康保険、福利厚生などの項目を指定して比較させるとよい。今号付録の「求人票ワークシート」も参考になる。



『高校生の新現代社会（初訂版）』p.80-81

また、非正社員のなかでも契約社員と派遣社員との違いを調べたり、その法的な位置づけや労働組合の状況について調べさせることも必要である。この学習にあわせ、経済分野における「労働者の権利と労働問題」の単元で取り扱うこともできるので、あらかじめ調整しておくとよい。

7 「したたかに」でも「しなやかに」生きる

昨年7月にNHKが「ワーキング･プア～働いても働いても豊かになれない」という番組を放送したのをきっかけに、フリーターやニートだけではなく「ワーキング･プア」と呼ばれる人々が急増していることが社会に衝撃を与えた。

ワーキング･プアとは、働いても働いても生活保護以下の水準、年収200万円以下しか得ることができない「働く貧困層」の人たちのことである。このような家庭が、日本全体に400万世帯もあるのだ。

日本国憲法第25条が保障する生存権、「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を脅かす深刻な実態が、全世帯のおよそ10分の1に広がっている。そして、景気が回復しているといわれるなかで、ワーキング・プアの厳しい現実を映し出した番組に、多くの大きな反響が寄せられていた。

それは誰にでも起こり得る極めて身近な問題である。そのような現実の社会の問題を解決するためにも、自分を取り巻く環境や自分自身の内面に決して無関心になってはならない。「一人前の大人」として、そのような社会のあり方がよいのか、それともよくないのか、ということについて、自分の意思を投票行動を通じて社会に反映できることも認識させたい。

一人の力は小さくても、多くの人間が社会参加をすることによって、よりよい社会を築くことができる。しかし、世の中は簡単に変わらないということもまた事実である。そのような社会のなかで「したたかに生きる」ためのスキルや態度を授けていくことも重要である。また、「したたかに生きる」だけでなく、「心のプア」になることだけは避けさせなければならない。そのための働きかけをすることも、我々の重要な責務であると考える。

そこで、「よりよく生きる」ために仕事と生活のバランスをとり「しなやかに生きる」、ワーク･ライフ･バランス（WLB）という考え方をミヒャエル･エンデの時間をテーマとして扱った『モモ』という映像作品を通じて考えさせている。

ライフには「生活」という意味の他に、「命」とか「生き方」という意味もある。そして、生活とは「お金」、命とは「時間」を意味し、WLBとは「お金」と「時間」のバランスをとって中庸に生きることではないかということを、生徒の今後の生活のなかでも意識させたい。

〈参考文献･資料〉
斎藤耕二ほか『高校生の心理』　有斐閣　1981
門倉貴史『ワーキングプア』　宝島社　2006
ミヒャエル･エンデ／大島かおり(訳)『モモ』　岩波書店　1976
映画「モモ」(105分)　提供：朝日新聞社=ヘラルド　1986製作

授業実践

経 済

「経済の変動」の展開

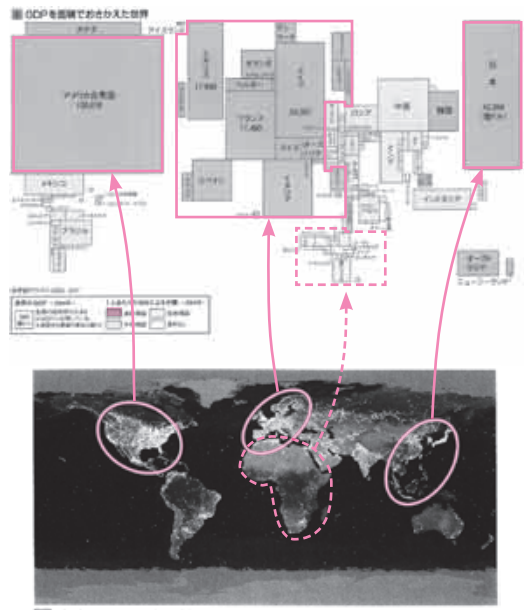
大阪府高校教諭

1 はじめに

経済の理論に関するところは、生徒にとっては最も難しいところのようだ。GDPなどのマクロ経済は、需要・供給などのミクロ経済とは異なり、具体的な、身近に感じられる話を織り交ぜにくい。今回、『高校生の新現代社会（初訂版）』(以下、教科書）のp.66に「GDPを面積でおきかえた世界地図」が入っている。この図は南北問題でよく見る地図であり、最初は違和感を感じたが、この地図を導入として用い、『標準高等地図（初訂版）』(以下、地図帳）も用いる授業実践例を考えてみた。

2 導入

まず、地図帳p.5「①経済の地図[c]」（教科書p.66図①と同じ）を見させてみよう。p.1の一般的な世界地図や「②人口の地図[c]」と比べて、面積の大きい地域・小さい地域はたやすく答えられるだろう。さらに、地図帳p.20写真[c]を見れば、明るいところと面積が大きくなっている地域が一致する。このあたりで、（一人あたり）GDPの多い国＝「豊かな」先進国、したがって、GDPが「豊かさ」の尺度であることを確認しておこう。



[c] 宇宙から見た夜の地球
人口が多く、経済活動がさかんな地域は光の密度が高くなる。

『標準高等地図（初訂版）』p.5、20

3 GDP

さて、ではGDPとは何の数字なのだろうか、という問いから本論がスタートする。単純に、「GDPとは、その国で1年間に産み出された付加価値の合計である」ということがわかればそれでいいのだが、付加価値とは何かを説明しなければならない。「生産物の価値－中間生産物の価値」なのだが、具体例は必要である。私はリンゴとリンゴジュースを例に使っている。

例：リンゴ1個50円、リンゴ1個を用いてリンゴジュースが1杯つくられ、1杯100円で販売される。

リンゴジュースの価値は100円であるが、ジュース屋さんが産み出した価値は材料代50円を引いた50円である。材料代が中間生産物であり、ジュース屋さんが産み出した価値が付加価値である。付け加えるならば、リンゴの価値50円は農家が産み出した付加価値である。これらの付加価値を日本中全部加えたものが、日本のGDPとなる。

とりあえず、ここまで理解できれば本質的には十分であると思うが、時間に余裕があれば、次のような練習問題が可能である。

問：リンゴとリンゴジュースの生産しか行っていない国の例を考える。リンゴジュース1杯を生産するのに、リンゴ1個を必要とする。ある年に、この国の生産量と価格は次の表の通りであった。この国のGDPを求めよ。

	価格	生産量
リンゴ	50円／個	120個
ジュース	100円／杯	80杯

答：リンゴの付加価値：50円×120個＝6,000円
ジュースの付加価値：
（100円－50円）×80杯＝4,000円
GDP＝6,000円＋4,000円＝10,000円（答）

ここで、「GDPの多い国＝たくさんのモノが生産されている国＝経済活動が活発な国」を確認しておく。もちろん、日本もその一員である。

4 三面等価の原則・GNPとGNI

まずは、三面等価の原則は難しくならないように、かつていねいに説明しておこう。「リンゴジュースは、リンゴ農家がつくった部分とジュース屋さんがつくった部分に分けられます。これが生産面」のように、一つのモノを三面からとらえると少しはイメージしやすいだろう。

次いで、GNPが登場する。教科書p.66①では、いきなりGNI（国民総所得）が出てくるが、GDPと比較するためにはGNPのほうがいいだろう。

GNP ＝ GDP ＋ 海外からの要素所得 － 海外への要素所得

上記の式を書いてみよう。「GNP＝GDP＋海外からの純所得」と書かれてあるテキストも見うけられるが、プラスとマイナスを分けて書いたほうがわかりやすい。日本のGDPは日本国内で生産された付加価値であり、日本国民（この場合の「国民」は「居住者」）が産み出した価値とは必ずしも一致しない。GDPから外国人が産み出した価値を引き、外国で日本国民が産み出した価値を加えるとGNPになる。これを押さえたうえで「N」と「D」を使い分ける意味を考えさせてみよう。

生産活動の活発さを示すのは、「D」の方が実感にあう。国内の生産活動が停滞し、外国に出稼ぎに行かなければならないなら、経済活動は停滞していると感じるだろう。「N」が実感をもつのは、私たちがどれくらいの生活水準にあるか、ということを知りたいときである。そこで計算されるのが、分配面・支出面から見たGNI・GNE（国民総支出）である。政治・経済の授業ならば、内訳をチェックするところだが、ここでは深入りせず先へ進もう。GNI＝GNPだから、GDPと直接比較できることになる。ここまで来て、三面等価の原則を用いることができた。

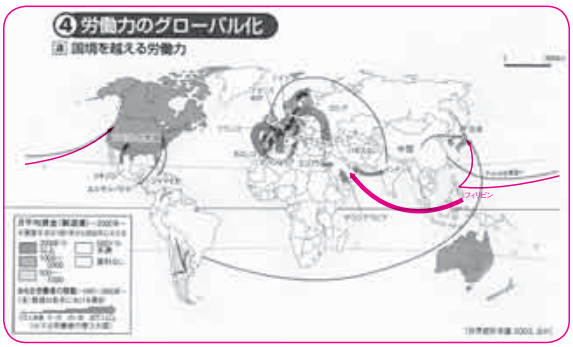
GNPとGDPの数値の違いから何がわかるだろうか。日本ではほとんど差がないが、ルクセンブルク（１人あたりGDPが最大の国である）とフィリピンを見てみよう。次の表を提示する。

	GDP	GNI
ルクセンブルク	31,864	25,559
フィリピン	84,567	95,085

（単位100万ドル、2004年『世界国勢国会』）

ルクセンブルクはGDPがGNIを上回っている。フィリピンは逆である。これらは何を意味しているのだろうか、生徒に考えさせる。

ルクセンブルクは国内総生産の比較的大きな部分を外国人が産み出している、つまり周囲の国から労働者が働きに来ているようである。実際、ルクセンブルクは小国ながら、欧州有数の金融センターとなっている。それを可能としているのが、EUにおける人やモノ、お金の移動の自由化であるので、できればそこまで授業を発展させたい。一方、フィリピンはどうか。フィリピン国民は国民総所得（＝国民総生産）の相当な部分を外国で稼いでいるということがわかる。そこで、地図帳p.18④ⓐを見てみよう。実際、フィリピンはアラブ諸国などへの海外出稼ぎが多い国であることが確認



『標準高等地図（初訂版）』p.18④

できる。国民所得計算から国・地域の特徴へと関心を広げさせることが可能である。

5 景気変動と物価変動

これまでに見てきた流れを踏まえて、「GDPの額が増加する＝生活水準が向上する」という前提で、経済成長、経済成長率、好況、不況、景気変動という言葉を確認しておこう。そして、日本のGNPの推移を示してみよう。

1963年	1973年	1983年	1993年	2003年
181	1,153	2,785	4,806	5,023

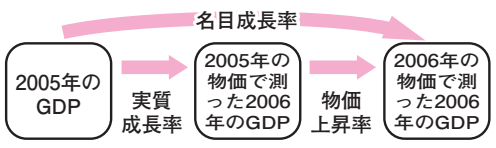
（単位千億円、『日本国勢図会』）

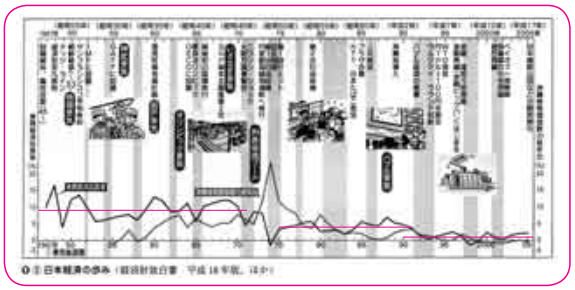
1963年に比べると、2003年は約28倍に増えている。ここで教科書p.67図③を見させ、GDP（GNP）の増加にあわせて、物価も上昇していることを確認し、実質経済成長率という言葉が用いられていることに触れておこう。GDPが物価の変化で水増しされると、実際にどれだけのモノが生産・消費されたか、つまり物質的にどれだけ豊かになったかがわかりにくくなる。そのため、物価はまったく変動していないと仮定した実質経済成長率を計算していると解説しておく。要するに、この40年間で28倍豊かになったわけではないということである。

余裕があれば、次の例を出してみるとよい。

	生産量	価格
2005年	100個	100円／個
2006年	120個	120円／個

2005年のGDPは10,000円で、2006年は14,400円である。したがって、名目経済成長率は44％となるが、物価は20％上昇している。そこで物価は変動していないと仮定し、2005年の価格を使って計算すると、2006年のGDPは12,000円で、経済成長率は20％である。この20％という数値が実質経済成長率である。私は物価上昇率との関係について、次のように板書している。





『高校生の新現代社会（初訂版）』p.67③

物価上昇率が出てきたところでインフレーション・デフレーションの用語を説明しておく。あとは、グラフから、高度経済成長期、低成長期、バブル崩壊後の平成不況におけるトレンドラインを読み取らせよう。普通、トレンドラインより上が好況、下が不況とされる。「高度経済成長期」「平成不況」と呼ばれるなかにも、景気変動が見られることにも注目させ、景気循環の種類へとつなげる。次に、再び教科書p.64の「現場から」に戻り、人々の所得が増加したときには、どのようなセリの結果になるか考えさせよう。経済成長率が高いときには物価上昇率も高いということを、下記のように前時の内容を踏まえて説明し、その逆パターンとして、2000年代はじめごろの「デフレスパイラル」の解説につなげていく。

好況時の物価上昇

①需要の増加 ➡ 需要曲線が右上に

②労働力不足 ➡

賃金の上昇 ➡ 供給曲線が左上に

6 まとめ

GDPや経済成長率は普段からニュースなどで出てくる言葉であり、政府や日本銀行が経済政策を行う判断基準となっているばかりか、私たちの就職、企業活動や賃金にも深くかかわっているものである。しかし、ということで、教科書p.66下７行にあるような、GDPの限界を指摘しておき、生徒の価値判断が経済成長至上主義に陥らないように留意しなければならない。

〈参考資料〉

福田慎一、照山博司『マクロ経済学・入門』第2版、有斐閣アルマ、2001年

①

②

③

現場から

教科書p.22〜23

福祉とロボット開発
早稲田大学に福祉ロボット開発の最前線を追う

〈訪問先〉早稲田大学理工学術院教授　藤江 正克 先生

福祉とロボット工学の最新の現状について、最先端の研究を行っている藤江先生の研究室に取材に伺いました。実際に試作機にも触れさせていただきました。インタビューでは、福祉ロボット研究のご苦労や普及への課題について、お話しいただきました。

Q1 福祉ロボットを研究開発することになったきっかけについてお聞かせください。

きっかけはとくにないんです。みなさんのイメージもそうだと思うんですけど、機械は金物という感じがしませんか。大学に入ってみても機械は、あまりおもしろくないなと思っていたんです。ゼミナールの配属のときに、一番機械らしくない研究室にいきたいと思ったんです。大学を出て日立に入り、30 年間勤めました。その間もずっと、ロボットをやってきています。

産業ロボットはロボットではないと私は考えます。子どもたちが鉄腕アトムや鉄人 28 号をロボットだと思っているように、私もそう思っているんです。福祉ロボットが本当のロボットだ、と。ロボットは基本的に、直接人間の役に立つものだと考えます。

Q2 現在、どのような福祉ロボットを開発・研究されているか、ご紹介ください。

早稲田大学は「超高齢社会における人とロボット技術の共生」に取り組んでいます。東京都心身障害者福祉センターと連携して、いろいろな実験をしています。お年寄りや障害者のニーズもわかりますし。

お年寄りが自立した生活をするために一番ほしいのは、歩行機能です。歩行支援機器というのが一つのポイントなんですね。そこで、最先端の歩行支援ロボットなんです。ロボットの上を歩くと、ロボットが動きに応じて速度を変えます。高齢者が時速 0.1km で歩いたとすると、ロボットは時速 5 km で動きます。自動車のアクセルを踏むのと同じように、実際に歩く速度より、速く移動できます。坂道の移動も可能です。ロボットが坂を感知し、制御しながら降りてくれる。

別の歩行支援機器の説明をうける

それぞれの条件に対応できるようになっています。

次は、杖。もともとは目の不自由な方のためにつくりました。高齢者になると、非常に視野が狭くなり、動体視力も落ちる。どこが一番安全なルートか考えなくてはなりません。健康な人はそういうことを考えないで歩けます。これは、知恵ある杖そのものなんです。国土交通省のプロジェクトでは、点字ブロックに IC タグを埋め込んで、そこから情報をキャッチしようとしています。隣に人がいるのと同じ感覚で、こっち行こうあっち行こうと、連れていってくれるロボットをつくっています。行く方向に力をかけて導いてくれる、という杖です。この実験はかなり進んでいます。

残っているのは、杖自体の問題です。足（の先端部分）が一本の杖はつきやすいけれど、少しでも角度がつくとすべってしまう。そこで、四本足で安定してつけるものもつくりました。開発したロボットは状況を判断して、安定した状態でつけるようにしてくれる。今はバッテリーを内蔵できるように改良しています。

街中で、試作ロボットの実験をくりかえす学生

Q3 福祉ロボットを開発・研究されるうえでのご苦労などをお聞かせください。

普及するためには、安くないといけないんです。1980 年代で、ロボットのハードについての基盤的な技術の研究は終わっているんですよ。今のロボット技術ならば、お金さえあればたいがいのことはできます。値ごろな価格にはなっていないんです。

→p.65

また、ロボットというとマスコミがきますよね。テレビでも、にぎにぎしく報道します。それではだめ。障害をもった人やお年寄りがこういう機械を使おうと思ったときに、あの人はあんなものを使っていると思われるのが、本人はすごく嫌なんです。そこに目を向けなくてはいけない。基本的に日本は、まだ文化ができていないんですよ。社会と思想の問題です。今、私どもにとって、社会になじませることは重要な課題の一つです。

お年寄りの人が使っていて、気持ちのよいものにしないといけない。お年寄り自身も、家族も、安心できる技術が必要です。そのためには大学の中ではなく街中での実験をしないといけません。

福岡市にロボット特区があります。 ロボットは道路交通法上認められていないので、自由に走るわけにはいかない。ここでは福岡県警が特別に許可を出しているので、ロボットが走ることができます。

さらに別の問題として、お年寄りは日々体の状態が違うということがあげられます。人によっても全然条件が違う。そのときにロボットが、どんな知恵を用いれば何気なく使ってもらえるだろうかというのが研究課題そのものです。自動車や半導体の技術を使った高性能なものもつくれます。でも、これでは使うときに、人間が機械に合わせることになりますよね。福祉ロボットは、取扱説明書や面倒な手順がいるようではだめなんです。知恵ある杖として働かなくてはなりません。

そこで、キーワードは優しさ。工学的に言うと、動かすとき、ひっぱるときの速度の変化や力の変化。ある一定以上の力で引っぱられると、手荒く扱われたと感じてしまいます。力を小さくすると、やさしく扱ってもらえたと感じます。今まで、そういう話はまったく出ませんでした。文科系と理科系がドッキングされていなかった。人間と機械システムという視点からみると、必要なことです。使う人の精神的なものを含めた状況に、機械が合わせる。人間が機械に合わせるのではなく、心遣いをしてくれるロボットが必要です。操作が難しくてうまく使えなくては、ロボットの意味がありません。優しさをもったロボットとして、人に寄りそえるものであってほしいと思います。あくまでも主役は人間であり、私たちも人間を見つめています。

大学では、哲学、心理学、経済、政治などさまざまな分野の研究があります。連携して研究しなければいけないと意識し始めました。福祉ロボットでは、工学以外の分野とも連携を進めることが必要なんです。

Q4 福祉ロボットを普及させていくうえで、今後必要となる社会福祉についてお聞かせください。

国土交通省は段差 2 cm というガイドラインを出しています。守ればそれでいいのかというと、そうじゃない。車椅子で通るにも、杖をつくにも問題があります。 2 cm は小さいようだけど、つまずいて転ぶことは十分にあり得る。

よくなったところもあるんです。福祉ロボットがやりやすくなったと思うのは、多くの人が携帯電話を使っていること。今では、全国どこに行っても電話がつながるでしょう。これは、インフラが用意されていることになります。メンテナンスやモニタリングはどこでもできる。あのネットワークを使えばいいんです。

点字ブロックもそう。どれだけ重要性が認識されているかわからないけど、あそこに IC タグを入れるだけで必要な情報が全部とれる。どういう場所でも情報にアクセスできる。だからロボットはたくさんの知識をもたずにアクセスだけすればいい。

熱心にお話しくださる藤江先生

必要なのは、インフラよりも文化的なものでしょうね。歩道に自転車がたくさん停めてあるでしょう。障害物なんですよ。車椅子が通れなくなるし、杖が情報をとれなくなる。これは教育の問題ですね。

インフラ的には、すごくよくなっているんですよ。僕らが困るのは、ロボットではできないこと。たとえばプラットフォームと線路の間に壁がないでしょう。あれは非常に怖い。ロボットに対して、ものすごくたくさんのことを用意しなくちゃいけない。最近の地下鉄では、電車がきたら扉が開く柵ができ始めているでしょう。一般の人のためなのかもしれないけれど、福祉ロボットを導入するのに、ものすごく役立つんです。

世の中は、無駄な投資をしているように思っているきらいがあるけれど、そうではありません。世界をみても、日本が一番遅れています。スロープはあればいいって思っている人もいる。急なスロープで、電動車椅子で上がるにはしんどいな、という場所がけっこうあります。本当はスロープの角度も決まっているんですけどね。なぜこういうことをやるんだろう、と知ることが重要なんでしょうね。

私は、学生にもっと考えてほしいと思います。なんのために勉強しているのか、それが何に役立つのか、してはいけないと言われる理由はなんだろう。それができれば、おもしろいと思うことは増えていくし、誰もが暮らしやすい世界になります。そのきっかけをつくるのは、私たち、教える立場の人間かもしれません。

表写真解説

①歩行支援機：ベルトの上を人が歩くと、ロボットが移動補助してくれる。

② IC タグを読みとる杖：点字ブロックに埋め込まれた IC タグを読みとって、利用者に指示を出すロボット。

③段差でも安定する杖：地面の段差を判断して、安定した状態でつくことのできる杖ロボット。段差にあわせて、足の部分が自動的に伸縮する。

※このインタビューのロングバージョンは、弊社ホームページに掲載します。

❷

❶

現場から 市場経済と高級嗜好品
オーディオメーカー「アキュフェーズ」と市場経済

教科書p.64〜67

〈訪問先〉アキュフェーズ株式会社　代表取締役社長　齋藤　重正 さん

日本屈指のオーディオメーカーに、市場経済における高級品の位置づけという観点から取材に伺いました。

空気感さえ伝える音の圧倒的な再現性の高さに驚きつつ、グローバル化・二極化する市場経済の中、こだわりの物作りで業界をリードするその努力について、インタビューを実施しました。

（左）歴代製品の前で熱く語る齋藤社長
（右）実際に製品の試聴をする

Q1 御社の設立のきっかけをお聞かせください。

オーディオという産業分野ができ始めたのは第二次世界大戦以降です。発端は欧米先進国からであり、日本は 5 年以上遅れてスタートしました。電気式録音機が出始め、アナログレコードは SP から LP へ、音源はモノラルからステレオへ、高音質 FM 放送の開始、さらにはトランジスタ化など、新しい技術がどんどん生まれてきました。私も 1958 年にこの業界に入り、当時としては最先端のオーディオ開発に情熱を傾けました。凄まじい高度成長の中で、1960 年代後半までに日本のオーディオメーカーは世界制覇を成し遂げ、海外の先進メーカーを駆逐していきました。

しかし、その成果は中級以下の製品群であり、高級品は依然として欧米メーカーが独占していました。いつかは互角の勝負ができる製品を開発したい。そんな夢を抱きながら、日本の宿命「大量生産・大量販売」に明け暮れておりました。

そんな中、1972 年にオーディオ界の老舗「ケンウッド（当時はトリオ）」の創業者が離職、念願であった日本初の高級オーディオ機器専門メーカーの設立を表明、これこそ自分の進むべき道と躊躇なく参加しました。

集まった技術者はエレクトロニクスが専門であったことから、エレクトロニクス製品に限定し、世界最高水準の製品を製造し、人類の精神文化に貢献するという高邁な理想を掲げてスタートした会社です。

オーディオを高度な趣味の世界と捉え、作り手が納得できる製品だけを作り、作り手の意図を理解した人だけが使う、このためには量を追わない、会社を拡大しない、資本は自前調達を貫くなど、日本には存在しなかったユニークな会社を作り上げてまいりました。お陰で 35 年が経過した今日、日本のみならず海外でも稀有な存在としてマニアの方々から認知される会社になりました。

Q2 商品の特徴とこだわりについて、ご紹介ください。

プリアンプで一番高い製品は 115 万円です。ただし、これだけで音は出ません。

一般的なオーディオ製品は数万円でもかなりのレベルに達しているものもあります。また、デジタルオーディオの最先端製品、iPod などは数千円でもそれなりに音楽が楽しめます。しかし、オーディオを高度な趣味として捉えた場合は全く別物です。CD やアナログレコードに記録された音楽を、生演奏以上に音楽的感動が得られるような再生をしたい、そのためには妥協のない、本物志向に作られた製品をぜひ揃えてほしい、それが我々の願いです。

Q3 製品のおもな販売台数は、どのくらいでしょうか。

現在、当社の総合カタログには約 30 種の製品が載っております。これらは全て生産し販売しており、合計で年間 6000 台ほどになります。全世界で最大 6000 人のお客様がいれば当社は継続できます。2 台、3 台、中にはもっと多くの台数を一緒に買ってくださるお客様もおりますので、最大 4000 人ほどで十分ではないでしょうか。

Q4 バブル崩壊後、不景気が続きましたが、その影響についてお聞かせください。

現在の年商は約 22 億円ですが、1980 年代後半には 27 億円に達したこともありました。バブル景気の終焉は当社にも影響があり、最悪期では 17 億円くらいまで下がりました。しかし、利益はそれなりに確保し、経営を持続してまいりました。ただ、当社の製品を買ってくださるお客様は、金があるから買うとか、ないから買わないとかではありません。購買意欲に一番敏感に響くのは、新聞などの報道です。嗜好性の強い製品なだけに、景気の波は受けます。ボーナスで払えればいいや、でもこのままいくと次のボーナスは下がるかもしれない、などと思うと使わなくなります。景気の先行きさえ読めれば、経営計画の立案はそれほど難儀ではありません。

製作現場：取材時も、20年以上前の製品が修理されていた

また、創業の時点から、マーケットは世界にまたがるものにしようという姿勢でスタートしました。世界的なオーディオ市場規模から、当初は海外の比率を高く想定しましたが、数年後にドルショックの影響をもろに受けてしまいました。代理店ベースの商売ですので、相手の経営姿勢に大きく左右され、海外比率が高いと危険が大きいことを痛感しました。創業から 8 年経過した時点で方針を転換、国内 70％以上、海外 30％以下を基本方針に組み入れました。同時にお取引は円建てにしましたので、為替変動も当社にとっては直接的な影響がありません。

→p.145

Q5 デフレーションが依然続く中、高級オーディオのニーズが続く理由は何だとお感じでしょうか。

お買い求めいただいた製品が、何年間高いバリューを維持しているか、という一点に尽きると思います。現在のエレクトロニクス製品は、フラットテレビでもデジカメでも、あらゆるものが半年から 1 年でモデルチェンジされ、そのたびに性能が上がって価格が下がり続けます。必然的に旧製品は無価値に限りなく近づいてしまい、持つ喜びは消えてしまいます。

私どものようなオーディオという高度な趣味製品は、いかに長くお客様に使っていただけるかが非常に重要なポイントです。裏返せば、作り手がいかに長く作り続けるかということも非常に重要になってくるわけです。私どもでは、短くても 3 年、長いものですと 5 年、6 年のロングランをしています。また、作る絶対数が少ないということは、希少価値が生まれ、古くなっても価値が下がらない要因にもなります。かなり古い製品が、中古市場で高い評価を受けているのも当社製品の特徴です。

さらに、モデルチェンジする場合は、現行製品に対し、音質も基本性能も確実に向上するように厳しい努力をしております。結果的には中身が濃くなった分、価格も上がりますので、現行製品の価値を下げません。

また当社では、製品の補修部品も長期間確保しています。業界の申し合わせでは、補修部品の保有は最終生産を行ってから 8 年間となっておりますが、当社の場合、CD プレーヤーなどの一部の製品と、外装部品を除いて、基本的な性能を復活させる修理は可能です。30 年以上経過した初期の製品 P-300、C-200 などの修理が今でも行われ、たびたび賞賛をいただいております。

Q6 海外の格安の商品も出回っていますが、デフレーションの影響などはありますか。

オーディオは 100％アナログです。しかし、CD や iPod など、今やデジタル技術なしでオーディオを語ることはできなくなってしまいました。オーディオにデジタル技術を導入したことにより、高級オーディオの領域ではますますアナログ・オーディオの質を向上させる楽しみが増えてまいりました。その一方で、iPod のようにオーディオ信号の圧縮技術が台頭し、それなりの音質で、簡便にしかも安価でオーディオを楽しむことができるようになりました。

今我々が、将来に向けて最も危惧する事態は、簡便なオーディオで満足してしまい、本物のよさを知らない世代が増えてきていることです。とくに景気の低迷が長く続いたことで、可処分所得の減少もあり、全ての分野で本物に金を投じなくなっていることです。

そのような中で、我々は創業の精神を守り、本物作りに徹し、オーディオ文化を通じて人間性の向上をめざしてこれからも団結して邁進してまいります。

100 人にも満たない小さな会社ですが、明確な企業方針をもち、毎年経営計画を策定し、目標に向かって行動する、元気な集団です。幸い日本のみならず海外でも一流の評価をいただいております。

若い人たちに、こんなふうに考えて励んでいる大人がいることを知ってもらえたら、嬉しく思います。若い人には自らの可能性を信じてもらいたい。私は、若さの力を信じています。

活用ポイント

①Q3の価格と販売台数から、教科書p.65③の需要曲線にあてはめてどのあたりに位置するか確認しましょう。
②Q4の具体例を教科書p.67③の日本経済の歩みにあてはめて、経済の変化を読みとりましょう。
③Q5・6から、デフレーションのしくみを確認し、オーディオを例に現在の市場経済の特徴を考えましょう。

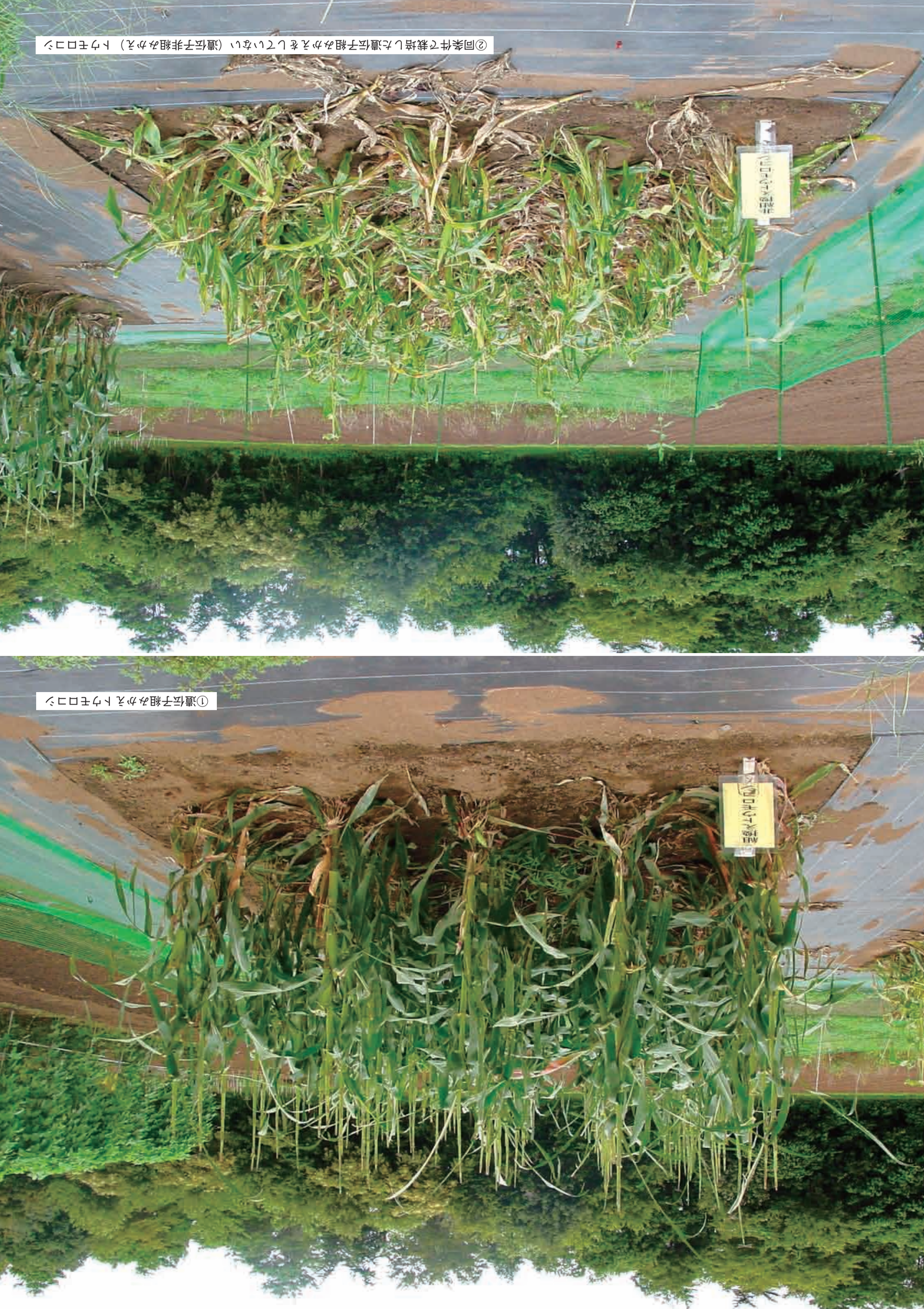
表写真解説

①高級オーディオ売場
アキュフェーズの製品を試験し、購入することができる。専門知識をもったスタッフが対応してくれる。

②一般オーディオ売場
主力はデジタルオーディオで、手軽な値段から若い客が中心となっている。

（取材協力：石丸電気）

※このインタビューのロングバージョンは、弊社ホームページに掲載します。



①遺伝子組みかえトウモロコシ

②同条件で栽培した遺伝子組みかえをしていない（遺伝子非組みかえ）トウモロコシ

写真とデータで見る 新旧比較

教科書p.20〜21

遺伝子組みかえ作物の現状 食の安全性と遺伝子組みかえ技術

〈訪問先〉独立行政法人 農業生物資源研究所 遺伝子組換え研究推進室長 田部井　豊さん

生活に身近な「食」という観点から、普段の生活でも目にすることの多くなった「遺伝子組みかえ」の現場を取材してきました。従来の作物と遺伝子組みかえ作物を比較することで見えてきた、さまざまな可能性や問題を紹介します。

培養中の細胞を手に取り説明する田部井先生

Q1 現在、どのような遺伝子組みかえ作物を研究されているか、ご紹介ください。

研究所で研究を行っている中で、今一番すすんでいるものは、花粉症を緩和するお米ですね。メカニズムとしては、花粉アレルギーの原因となるタンパク質の一部をお米の中でつくらせて、それを食べることによって体を花粉に慣らしていくというものです。腸には腸管免疫寛容というメカニズムがあって、腸管を通ると、これは食べ物として敵ではないよという判断を下す機構があるそうです。それを利用して、アレルギーを認識する回路を通り抜けさせて、体にそれは敵ではないよと反応させる。すると花粉が体に入っても、アレルギーが起こらなくなります。このようにして、花粉症を起こさない、あるいは緩和、予防することができるのではないかという試みをしています。

現時点では、商品化されているものはまだありません。花粉症緩和米も、医薬品か食品かという議論がありましたが、今は医薬品ということですすめるべきだという厚生労働省での判断があり、相談しながら実用化に向かっています。

Q2 遺伝子組みかえ作物を研究されるうえでのご苦労などをお聞かせください。

遺伝子組みかえでは、技術的に何段階かに分かれて問題があります。

最初の段階で大事なのは、必要な遺伝子を確実に取り出し、その遺伝子を植物にきちんと入れられるかということです。遺伝子組みかえでは、意味のある、きちんと機能する遺伝子を取ること自体が、とても難しかったのです。要するに遺伝子の働きを調べて確認が取れるまで、時間がかかります。

私どもの研究所では、5 年単位で目標を決めて研究をしています。農業生物資源研究所が 2001 年に設立されてから、最初の 5 年間の大きな成果は、イネゲノムの全塩基配列解読でした。このために、遺伝子組みかえに関する研究がとてもすすめやすくなりました。

解読ができたら植物に遺伝子を入れて、除草剤に強いとか、害虫に強いという植物をつくります。そうしてできたところから安全性をきちんと評価して商品化することが、次の問題になります。普通に交配して品種改良をしたものや、放射線照射による突然変異体などは、そのまま品種登録ができます。けれど遺伝子組みかえの場合は、事前に危険性がないことを十分に確かめながら、だんだんと栽培していきます。

遺伝子組みかえ植物の実験段階でも注意をはらいます。試験を終了した植物だけでなく、試験に使った土や鉢、残った水なども、ものは基本的に高圧熱湯処理をして、生きた組みかえ細胞が外に出ないようにします。

さらに、遺伝子組みかえ作物の安全性評価のしくみというものがあります。実験室で遺伝子を取って、植物に導入します。導入したものを外で栽培してもいいという認可をするのが、「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」、一般的には「カルタヘナ法」といわれる法律です。その後、食品や飼料として利用する場合には、また別の法律（食品衛生法や飼料安全法）での認可を取らなくてはいけない。ここの認可を取ることが、とても大変ですね。膨大な時間とお金がかかるというのが事実です。

Q3 遺伝子組みかえ作物を栽培するメリットについてお聞かせください。

第二世代とよばれる組みかえ体では、健康機能性を付与したものを研究開発しています。花粉症を緩和するお米、コエンザイム Q10 を強化したお米などがそうですね。これらは、どうがんばっても従来の交配、育種ではできません。今までにできないことができるというのが、この技術の特徴ですね。

将来的なことですが、高血圧を防ぐ血圧降下米とか、血糖が高いときに食べるとインスリンの分泌を促進するような物質が入っている糖尿病対策米も考えられています。さらにすすむと、骨粗しょう症やアルツハイマーの予防ができる可能性もありますね。

第二世代の組みかえ体では、直接食べる機能を求めるものではなく、医薬品を植物につくらせようという研究もされています。最近ですと、HIV エイズの抗体をタバコにつくらせるという話もあります 。

閉鎖環境で実験栽培されるイネの説明を受ける

さらにその先で考えられているのは、環境修復をする植物です。たとえばダイオキシンを吸収して分解するとか、カドミウムなどその土地の重金属を吸収して、その植物を刈り取ることによってその土地をクリーンにするとか。吸収して持ち出すだけなら非組みかえ体を使った研究でもありますが、遺伝子組みかえによってさらに吸収効率をあげようとしています。

バイオエタノールの原料となる植物の開発もしています。トウモロコシやサトウキビがそうですね。これらの植物への遺伝子導入は、まだ技術的に難しいです。遺伝子組みかえによる「食」を目的としない植物。第三世代の遺伝子組みかえ植物といえるかもしれませんね。

もちろん、注意すべきことがあればきちんとお伝えしなくてはなりません。けれど、私はあまりデメリットがあると思えないのですが、あえて気をつけることをお話します。

医薬品や工業原材料をつくるための遺伝子組みかえ植物では、万が一それを食べてしまったときに安全かどうかという問題があります。法律上認可を取っているかどうかということではなく、口にしてしまった場合に、本当にそれが安全かどうか。口にしたときに安全でないものが、たとえば野外で他の作物と交雑して、それが食品として流通されたら問題ですよね。栽培をコントロールすることが必要だと思います。

Q4 遺伝子組みかえ作物が消費者に受け入れられていくための課題について、お聞かせください。

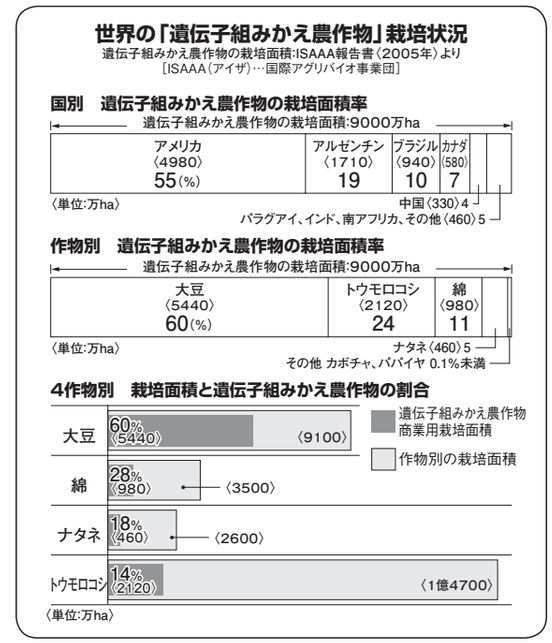
経験からいくつか考えられることをお話しします。まず、JAS 法による表示が逆効果になっている点があると思います。「遺伝子組みかえではない」というのが「たばこの吸いすぎに注意しましょう」と同じようにとらえられて、危ないから遺伝子組みかえ作物を使わないようにしているという誤解を生んでいます。遺伝子組みかえは悪いものだ、遺伝子組みかえでないほうがいいと。

表示が義務付けられるのは、遺伝子組みかえ作物の使用の可能性がある場合の不分別と、使用が明らかな場合です。それ以外の場合は、書いても書かなくてもいい。でも実際は、そうならなかったです。あくまでも選択の権利を与えるために表示しているはずなのに、誤解を生んでいる。変えられればいいなと思っています。

結局、安全を続けることが、安心につながるんだと思います。そのうえで、遺伝子組みかえ作物をつくりたいという人と遺伝子組みかえ作物は嫌だという人の、双方の権利が守られるようなしくみが必要だと思います。共存のしくみを、政府がつくることが大事ではないでしょうか。遺伝子組みかえはよくわからない、とにかく不安だという人に情報をきちんと与えて、議論して、理解してもらいたい。それでも嫌だという人がいたら、いいという人と嫌だという人が共存できるようなしくみが必要です。

生産性のメリットがあるから遺伝子組みかえ作物をつくりたいという人が、きちんとつくれるようなしくみ。ただしこれには、野放しでつくられるのではなく、きちんと周りと距離をあけましょうとか、組みかえが嫌だとつくっていない人に実害が出たらどう保障するのかということを含みます。共存のルールができることは、ある意味では安心にもつながると思いますね。必要なことだと思っています。

遺伝子組みかえ植物に対してなんとなくイメージをもつだけではなく、興味をもって接してもらいたいですね。エネルギー問題や食料問題は、身近に感じられないかもしれません。技術的なことは難しいとも感じるでしょう。けれど近い将来、必ず私たちにせまってくる問題です。正しい知識をもって問題に向かい合ってほしいと思います。そのための情報発信には努力しますので、みなさん自身が納得したうえで判断してもらいたいです。



※このインタビューのロングバージョンは、弊社ホームページに掲載します。

（資料編）

➡教科書p.80～81

記入例1

高卒用求人票

1 求人者	事業所名（または氏名）	（ふりがな）かぶしきがいしゃ オリエンタルプランニング 株式会社 オリエンタルプランニング						
	所在地	〒（151 - 0061） 東京都渋谷区初台一丁目40－3 アネックスビル6F （京王新宿）線（初台）駅から・バス・徒歩（6）分						
	就業場所（現場・店）	〒（ - ） （ ）線（ ）駅から・バス・徒歩（ ）分						
	生産品目 事業内容	各種ホームページの作成 およびメンテナンス・営業						
	従業員数（常用）	当事業所	人（男 人・女 人）					
		企業全体	人（男 人・女 人）					
	創業	明・大・昭・平 14 年	資本金 1,000万円		労働組合	有・無		
					就業規則	有・無		
2 就業時間・休日等	就業時間	午前 9 時 30 分～午後 18 時 30 分 フレックスタイム制（コアタイム10～16時）	変形労働時間制	有・無				
	休憩時間	午前 分・昼 50 分・午後 10 分・計 60 分						
	交替制	有（①時 分～時 分 ②時 分～時 分 ③時 分～時 分）		無				
	残業	有（月平均 6 日位で 10 時間位）・無						
	休日	日曜・祝日・土曜 月曜日・月		他				
	週休2日制	有（完全・隔週）・その他（ ））・無						
	有給休暇	入社時 10 日・6カ月後 10 日・最高 2 年 0 カ月後 20 日						
3 賃金（確定）	定額的に支払われる賃金		賃金から控除するもの		締切日 支給日	28日 末日		
	基本給	170,000 円	税金	5,500 円	賃金形態	月給		
	（日給のとき 日で換算）	円	社会保険料	19,000 円		日給		
	手当	円	宿舎費	10,000 円		日給月給		
	手当	円	食費（ 食分）	15,000 円		時給		
	手当	円				その他（ ）		
	①合計	通勤 170,000 円 住込 170,000 円	②控除額合計	通勤 24,500 円 住込 49,500 円	手取額 ①－②	通勤 145,500 円 住込 120,500 円		
	特別に支払われる手当		賞与	新規学卒者の昨年度実績 年 2 回 合計 3 カ月分				
	通勤手当	全額 40,000 円 定額（最高 円まで）						
	皆勤精勤手当	円		一般労働者の昨年度実績 年 2 回 合計 5 カ月分				
	手当	円						
	手当	円						
	定期昇給	年 回・合計 円	退職金	有・最低資格 5 年）・無				
4 職種	営業・事務職	5 求人数	（通勤） 人	（住込） 人	（不問） 10 人			
6 雇用の期間の定め	無・有（ ）							
7 作業内容等	仕事の内容 1.ホームページ作成の企画を作成し、企業や個人を訪問し作成依頼の契約を行う 2.契約企画や個人を訪問し、データのうけわたしや、定期メンテナンスなどの調整を行う 3.問いあわせ対応や電話相談窓口など、事務を行う							
	作業遂行上特に必要な知識または技能（履修科目等）	求人条件にかかる特記事項						
	コンピュータの操作	なし						
8 福利厚生等	加入保険等	健康・厚生・雇用・労災・退職金共済・財形						
	寄宿舎	有（独立の寄舎（有・無） 入居（可・否）・1部屋 人1人当たり 畳 勤務先までの時間 分）・無						
	定年制	有（ 60 歳）・無						
9 通学	可（時間配慮 有（賃金支払 有・無）・無 通学時間 分 学校名 （交通手段 ））・無							
	通学費用の企業負担	有（入学金・教科書代・授業料月額 円・交通費）・無						
10 応募・選考	受付期間	9月5日～9月20日 月 日以降随時	選考月日	月 日 9月20日以降随時				
	選考場所	本社会議室（1の所在地に同じ）						
	選考方法	学科試験（一般常識・国・数・社・英・その他（ ）・作文） 面接・適性検査・その他（ ）						
	採否決定	月 日 7 日後	選考旅費	有・無				
11 赴任	入社日 20 年 4 月 1 日	赴任旅費	有・無					
12 補足事項	（事務所の特色、労働条件、福利厚生施設など） 1.年末年始10日間、ゴールデンウィーク10日間、盆7日間の連休あり。 2.システムアドミニストレーターなど各種資格取得に対して支援があります。また、業務に必要なコンピュータ技能については社外研修制度があります。 3.入社後は1カ月程度の研修期間があります。							
13 採用事務担当者	総務 部 課（役職）部長 氏名 田中一郎 電話 03（3900）0000 内線 FAX 03（3900）9999							
14 事務所名 代表者名	株式会社 オリエンタルプランニング 代表取締役社長 有田英史							
15 求人連絡・推薦数	県	安定所	求人連絡数	学校	推薦人員	学校	推薦人員	
	東京	中央		A高校	1			
	東京	多摩		B工業	1			
	神奈川	横浜中央		C高校	1			
	神奈川	川崎		D商業	1			
				E学園	1			
	求人連絡総数 4所 4人			推薦依頼総数	（管内） 1校 1人 （管外） 4校 4人			
16 雇用事務所番号								
17 採用・離職状況		16年3月	17年3月	18年3月				
	応募者数	10	14	16				
	採用者数	8	10	8				
	離職者数	6	5	—				
特記事項	受付番号	受理	紹介番号	職業番号	確認印			

記入サンプル

記入例2

高卒用求人票

1 求人者	事業所名（または氏名）	（ふりがな）ていこくきかいこうぎょう かぶしきがいしゃ ふくおかしし 帝国機械工業 株式会社 福岡支社						
	所在地	〒（812 - 0017） 福岡県福岡市博多区美野島5丁目2番3号 （鹿児島本）線（博多）駅から・バス・徒歩（5）分						
	就業場所（現場・店）	〒（ - ） （ ）線（ ）駅から・バス・徒歩（ ）分						
	生産品目 事業内容	セラミック製品、軽金属製品の製造販売						
	従業員数（常用）	当事業所	420 人（男 300 人・女 120 人）					
		企業全体	1,250 人（男 780 人・女 470 人）					
	創業	明・大・昭・平 12 年	資本金 5億2,000 万円		労働組合	有・無		
					就業規則	有・無		
2 就業時間・休日等	就業時間	午前 8 時 30 分～午後 5 時 30 分	変形労働時間制	有・無				
	休憩時間	午前 分・昼 50 分・午後 10 分・計 60 分						
	交替制	有（①時 分～時 分 ②時 分～時 分 ③時 分～時 分）		無				
	残業	有（月平均 日位で 時間位）・無						
	休日	日曜・祝日・土曜 曜日・月		他				
	週休2日制	有（完全・隔週）・その他（ ））・無						
	有給休暇	入社時 10 日・6カ月後 10 日・最高 6 年 6 カ月後 20 日						
3 賃金（確定）	定額的に支払われる賃金		賃金から控除するもの		締切日 支給日	20日 末日		
	基本給	152,000 円	税金	5,500 円	賃金形態	月給		
	（日給のとき 日で換算）	円	社会保険料	19,000 円		日給		
	手当	円	宿舎費	1500 円		日給月給		
	手当	円	食費（ 食分）	10,000 円		時給		
	手当	円				その他（ ）		
	①合計	通勤 152,000 円 住込 152,000 円	②控除額合計	通勤 24,500 円 住込 36,000 円	手取額 ①－②	通勤 127,500 円 住込 116,000 円		
	特別に支払われる手当		賞与	新規学卒者の昨年度実績 年 2 回 合計 2 カ月分				
	通勤手当	全額 定額（最高 円まで）						
	皆勤精勤手当	5,000 円		一般労働者の昨年度実績 年 2 回 合計 4 カ月分				
	手当	円						
	手当	円						
	定期昇給	年 1 回・合計3% 円	退職金	有・最低資格 3 年）・無				
4 職種	技術職	5 求人数	（通勤） 人	（住込） 人	（不問） 8 人			
6 雇用の期間の定め	無・有（ ）							
7 作業内容等	仕事の内容 1.機械（NC旋・MC機、その他）を操作し、製品の加工及び機械の設定、調整を行う。 2.分析機械器具を用いて、材料・製品の評価、分析を行う。							
	作業遂行上特に必要な知識または技能（履修科目等）	求人条件にかかる特記事項						
	なし	なし						
8 福利厚生等	加入保険等	健康・厚生・雇用・労災・退職金共済・財形						
	寄宿舎	有（独立の寄舎（有・無） 入居（可・否）・1部屋 人1人当たり 畳 勤務先までの時間 3 分）・無						
	定年制	有（ 62 歳）・無						
9 通学	可（時間配慮 有（賃金支払 有・無）・無 通学時間 40 分 学校名 福岡大学 （交通手段 ））・無							
	通学費用の企業負担	有（入学金・教科書代・授業料月額 円・交通費）・無						
10 応募・選考	受付期間	9月5日～9月16日 月 日以降随時	選考月日	8/26 月曜日 9月16日以降随時				
	選考場所	福岡支社会議室（1の所在地と同じ）						
	選考方法	学科試験（一般常識・国・数・社・英・その他（ ）・作文） 面接・適性検査・その他（ ）						
	採否決定	月 日 5 日後	選考旅費	有・無				
11 赴任	入社日 20 年 4 月 1 日	赴任旅費	有・無					
12 補足事項	（事務所の特色、労働条件、福利厚生施設など） 1.年末年始8日間ゴールデンウィーク10日間、盆5日間の連休あり 2.基山工場所在地…佐賀県三養郡基山町大字基山字基山 宇美工場所在地…福岡県粕屋郡宇美町大字宇美5432番地 3.神奈川県箱根町に保養施設があります。また提携スポーツクラブがあります。 4.入社後3カ月は福岡支社及び各工場で研修を行います。 5.寄舎は工場すぐ近くに独立してあります。							
13 採用事務担当者	総務 部 人事 課（役職）課長 氏名 花嶋和夫 電話 092（622）1234 内線 FAX 092（622）321X							
14 事務所名 代表者名	帝国機械工業株式会社 福岡支社 取締役支社長 北村英幸							
15 求人連絡・推薦数	県	安定所	求人連絡数	学校	推薦人員	学校	推薦人員	
	福岡	福岡中央		A工業高校	2			
	〃	福岡東部		B高校	2			
	佐賀	鳥栖		C高校	2			
	〃	佐賀		D工業高校	4			
	長崎	佐世保		E高校	2			
	求人連絡総数 所 人			推薦依頼総数	（管内） 1校 2人 （管外） 4校 10人			
16 雇用事務所番号								
17 採用・離職状況		16年3月	17年3月	18年3月				
	応募者数	12	14	14				
	採用者数	10	12	11				
	離職者数	1	2	—				
特記事項	受付番号	受理	紹介番号	職業番号	確認印			

記入サンプル

活用のポイント！ 上記の２つの記入例は、下記のような観点で差をつけています。

	業種	企業年	資本	給与	残業	休日	福利厚生	通学支援	資格支援	離職率
記入例１	IT系・小企業	新	少	多	有	多	普通	無	有	高
記入例２	製造業・大企業	古	多	少	無	少	手厚い	有	無	低

※裏面に、記入用白紙求人票がついています。

（活用編）

➡教科書p.80～81

求人票を活用してみよう

創価大学教育学部　宮崎　猛

1 求人票活用のメリット

＊就職活動に必要な基本的な知識を身につけさせることができる。
　→生きて働く知識、実際に役立つ知識
＊将来を身近に考えさせることができる。
　→あり方、生き方教育
＊労働法の条文を具体的・実際的に理解させることができる。
　→「現代社会」の基礎的知識
＊求人票の役割と限界を考えさせることで、情報の収集と活用の仕方を身につけさせることができる。
　→情報の主体的な活用

2 求人票の活用例

テーマ１　あなただったらどちらの会社を選ぶ?（表面の求人票の例）

＜展開例＞

1.複数の求人票を比較させて、それぞれの会社の労働条件、勤務内容等の違いを発見・考察させる（個人でメモやワークなどに記述）。
2.それぞれの求人票の記述内容のメリット・デメリットをあげさせる（個人でメモやワークなどに記述）。
3.自分だったらどちらの会社に勤めたいかを考えさせる（グループでの意見交換）。
4.就職したらどんな姿勢でその会社で働くか考えさせる（グループでの意見交換）。
　お金のため？生きがい？両方？一生働くつもりで？それとも…？
5.グループでの話し合いの内容の発表させる（クラス全体での情報交換）。

求人票作成のポイント

　教師の側であらかじめイメージを決めて、右の票を使ってメリハリのある求人票を複数作成する。
　たとえば…
「設立年数が浅いが、仕事内容が今日的」「大きな会社で離職率が低いが、給料が少ない」
「給料が高いが残業が多く、休みが少なく離職率が高い」など。
　そのうえで、「資本金の大小」「賃金の多寡」「仕事内容」「就業時間」「離職状況」などに違いを設ける。

テーマ２　求人票の間違い探し、疑問点

＜展開例＞

1.労働基準法等の基本事項を教科書や条文をもとに指導する（一斉指導）。
2.労働基準法に照らして、求人票の記載内容が違反していないかを確認させる（個人でメモやワークなどに記述）。
3.どのような点が問題かを考察させる（グループでの意見交換→クラス全体での情報交換）。
4.教師によるまとめ＝答え合わせと解説（一斉指導）（求人票作成のポイント）。
　労働基準法に抵触する労働時間、休日、就業時間などの条件を盛り込んでおく。
＊発展的な内容として、就職した後、労働法に違反するような状況におかれたらどうするかを考えさせてもよい。

テーマ３　情報のとらえ方、活用の仕方

＜展開例＞

1.就職先を探す場合にどのような情報やデータが必要か考えさせる（個人での考察→グループでの意見交換）。
2.求人票からわかることとわからないことを考えさせる（個人でメモやワークなどに記述させる）。
3.仕事を決める際に求人票以外にどのような情報が必要かを考えさせる（グループでの意見交換）。
4.どのような方法で追加の情報を収集するか考えさせる（グループでの意見交換）。
　インターネット、会社見学、インターンシップなど
5.「求人票」や「インターネット情報」「会社見学」などによる情報収集のメリット・デメリット、留意点を考察させる。（個人→グループ）。

＊上記複数のテーマを組み合わせて扱うことも可能。

記入用白紙求人票

活用例に合わせて、さまざまな求人パターンの記入用原版としてお使いください。

高　卒　用　求　人　票

1 求人者	事業所名（または氏名）	（ふりがな）				
	所在地	〒（　-　） （　　）線（　　）駅から・バス・徒歩（　　）分				
	就業場所（現場・店）	〒（　-　） （　　）線（　　）駅から・バス・徒歩（　　）分				
	生産品目事業内容					
	従業員数（常用） 当事業所	人（男　　人・女　　人）				
	従業員数（常用） 企業全体	人（男　　人・女　　人）				
	創業	明大昭平　年	資本金	億　万円	労働組合	有・無
					就業規則	有・無
2 就業時間・休日等	就業時間	午前　時　分～午後　時　分	変形労働時間制	有・無		
	休憩時間	午前　分・昼　分・午後　分・計　分				
	交替制	有（①　時　分～　時　分 ②　時　分～　時　分 ③　時　分～　時　分）・無				
	残業	有（月平均　　日位で　　時間位）・無				
	休日	日曜・祝日・土曜　　曜日・月　　回				
	週休２日制	有〔完全・隔週・その他（　　）〕・無				
	有給休暇	入社時　　日・6カ月後　　日・最高　　年　　カ月後　　日				

3 賃金（確定）	定額的に支払われる賃金		賃金から控除するもの		締切日		日
	基本給	円	税金	円	支給日		日
	（日給のとき　　日で換算）		社会保険料	円	賃金形態	月給	
	手当	円	宿舎費	円		日給	
	手当	円	食費（　食分）	円		日給月給	
	手当	円				時給	
	①合計	通勤　円 住込　円	②控除額合計	通勤　円 住込　円	手取額 ①－②	その他（　） 通勤　円 住込　円	
	特別に支払われる手当		賞与	新規学卒者の昨年度実績 年　回 合計　カ月分			
	通勤手当	全額 定額（最高　円まで）					
	皆勤精勤手当	円		一般労働者の昨年度実績 年　回 合計　カ月分			
	手当	円					
	手当	円					
	定期昇給	年　回・合計　円	退職金	有（最低資格　　年）・無			

15 求人連絡・推薦数	県	安定所	求人連絡数	学校	推薦人員	学校	推薦人員	
	求人連絡総数　　所　　人			推薦依頼総数　（管内）　　校　　人 （管外）　　校　　人				

4 職種		5 求人数	（通勤）　人	（住込）　人	（不問）　人
6 雇用の期間の定め	無・有（　　）				
7 作業内容等	仕事の内容				
	作業遂行上特に必要な知識または技能（履修科目等）	求人条件にかかる特記事項			
8 福利厚生等	加入保険等	健康・厚生・雇用・労災・退職金共済・財形			
	宿舎	有（独立の宿舎（有・無） 入居（可・否）・1部屋　人1人当たり　畳 勤務先までの時間　分）・無			
	定年制	有（　　歳）・無			
9 通学	可（時間配慮 有（賃金支払 有・無）・無　通学時間　分 学校名　（交通手段　））・無				
	通学費用の企業負担	有（入学金・教科書代・授業料月額　　円・交通費）・無			
10 応募・選考	受付期間	月　日～　月　日 月　日以降随時	選考月日	月　日 月　日以降随時	
	選考場所				
	選考方法	学科試験（一般常識・国・数・社・英・その他（　）・作文） 面接・適性検査・その他（　）			
	採否決定	月　日 日後	選考旅費	有・無	
11 赴任	入社日	年　月　日	赴任旅費	有・無	
12 補足事項	（事務所の特色、労働条件、福利厚生施設など）				
13 採用事務担当者	部　課（役職）　氏名 電話（　）　内線 FAX（　）				
14 事務所名 代表者名					

16 雇用保険 適用事務所番号		17 採用・離職状況		16年3月	17年3月	18年3月
			応募者数			
			採用者数			
			離職者数			
特記事項	受付番号 地域番号 分	職業番号 分	受理 検印 認印			

記入見本